

### 再生可能エネルギー仕様選定比較表

	太陽光採光システム (設置数:2ヶ所)	太陽光発電システム (パネル容量:200W)
概要	 <p>レンズ集光・光ファイバー伝送方式</p>	 <p>太陽電池</p>
	屋外に設置した集光機により太陽光をレンズで集光し、光ファイバーにより伝送し、専用照明器具で室内に太陽光照明を行なうシステム。	シリコン半導体に光が当たると電気が発生する現象を利用し、太陽の「光エネルギー」を直接「電気エネルギー」に変換して活用する。その電気は、一般電気として使用する。
効率	太陽の動きに合わせて自動で太陽を追尾するため、天候の変化にも対応している。よって、安定した太陽光採光が可能である。	パネル向きが一定のため、効率の良い発電時間帯が限られる。また、太陽光の変換効率は30%以下であり、直接太陽光を照明利用するより効率が悪い。
設置による影響	・設置による影響はない。	・反射光による周辺家屋へのトラブル。 ・風、雪の影響を受けやすい。
維持管理	清掃は必要だが、メンテナンスフリー	パネル及びパワーコンディショナーの交換:10年目4年毎に定期点検
照光方式	・人工照明では表現できない自然な色合いの採光が可能。 ・赤外線、紫外線カットにより、熱による室内の温度上昇が少ない。	・LEDもしくは発光ダイオードによる照光。 ・照度を一定に保つことができる。
まとめ	太陽光採光システム…太陽光を直接取り込むことにより、自然エネルギーの導入が分かりやすく、積極的な取り組みの啓発となる。 太陽光発電システム…太陽光を効率的に利用するには、太陽光採光システムより劣る。	